

平成26年度

体験実習活動報告集

八潮こども夢大学

## 参加者

	児童	保護者	指導課	NPO	計
第1回 聖徳大学	28	20	4	2	54
第2回 産業能率大学	25	18	5	2	50
第3回 東海大学	22	11	4	2	39
第4回 昭和大学	25	14	3	2	44
第5回 芝浦工業大学	24	17	4	2	47
第6回 聖徳大学	24	12	4	2	42
平均人数	24	15	4	2	46

第1回から第6回まで、大学訪問の参加者は児童の平均が24名、保護者の平均15名であった。

引率に際しては事前に大学まで行き、事務局の担当者と体験授業の内容の確認を行った。また八潮駅から大学までの往復の経路を検討し、乗り換えがスムーズに行えること、最短の時間でいけること、運賃が安いことなどを考慮しながら経路を決めた。

## 第1回八潮こども夢大学実施報告（聖徳大学）

実施日 平成26年10月4日（土曜日） 10:00～13:00  
会場 聖徳大学・看護学部  
参加者 児童 28名 保護者 20名 引率者 指導課 4名 NPO 2名  
内容 「新生児モデル人形を用いたバイタルサイン測定の体験授業」  
＝「赤ちゃん人形で大人との違いを体験してみよう！」＝  
指導者 小児看護学部 佐鹿孝子教授、河合美奈助教授、小倉久美子助教授

### 【当日の概要】

8:30 八潮駅集合  
10:00 開校式（聖徳大学副学長 増井三夫氏のあいさつ）  
（潮止小学校児童の代表の言葉）  
10:15 模擬体験授業

《新生児人形を用いて心音を聴く実習》



《佐鹿教授の授業風景》



最初に佐鹿教授から、赤ちゃんは胎内でどう育っていくのかの講義を受けた。その後、「新生児モデル人形を用いたバイタルサイン測定の体験授業」で、聴診器を使ってモデル人形の心音を聴いたり、自分の心音や友達の子音を聴いたりした。「新生児モデル人形」での体験を終了し、基礎看護学実習室へ移動した。

基礎看護学実習室では、車椅子の患者の介護方法を学んだ。隣の部屋の在宅看護実習室では、寝たきりの病人に対し心電図や脈拍をコンピュータで検知している様子を見学した。その後、病人に対し心電図や脈拍をコンピュータで検知している様子を見学した。

11 : 45 閉校式 (学長補佐 野原八千代氏のあいさつ)  
(潮止小学校児童のお礼の言葉)

記念撮影

12 : 00 学食体験

昼食は学生食堂のレストランで、一般学生に交じって、食事をした。

《友達の心音を聴く実習》



《児童・保護者の集合写真》



#### 【児童の感想】

- 大人の体のことも知って、子どもとの違いを比較したいです。お母さんは、ぼくを生んで、大きくなるまで大切に育ててくれたということがわかりました。
- 学食体験では、食べるものが小学校よりもおいしかったです。自分で好きなものを選んで食べられてよかったです。
- 赤ちゃんの人形を使って、心臓の音を聴いたり、ミルクを飲ませたあとは、背中をたたいてゲップをさせたりするなど、楽しく学べてよかったです。

#### 【保護者の感想】

- 赤ちゃんの人形を抱く経験や実際に使っている人形に触ることができて、とても貴重な体験ができました。
- 安全面に配慮されていたと思います。次回は乗換えが多いので、より十分な配慮をよろしくお願いします。
- とてもよい企画だと思いました。大学がどんなところなのか、子どもが見て、感じとってもらえたら、成功だと思います。

## 第2回八潮こども夢大学実施報告(産業能率大学)

実施日 平成26年10月11日(土曜日) 10:00~13:00  
会場 産業能率大学・自由ヶ丘キャンパス  
参加者 児童25名 保護者19名 引率者 指導課5名 NPO2名  
内容 「自由ヶ丘の商品開発をしてみよう」  
＝「マーケティングについて考える」  
指導者 経営学部 武内千草教授、学生6名

### 【当日の概要】

- 7:50 八潮駅集合
- 9:50 記念撮影
- 10:00 開校式(産業能率大学入試センター課長 富田雄介氏のあいさつ)  
(八幡小学校児童の代表の言葉)
- 10:15 模擬体験授業(講義・グループ討議)

《開校式前に集合写真撮影》



《学生との討論中の様子》



教室に入る前にグループワークの為に、6グループに再編成し、学生の誘導で着席をする。着席後、自由ヶ丘の街の紹介ビデオを見せてもらう。

武内准教授から、商品開発の必要要素についての講義を受ける。自由ヶ丘にある老舗洋菓子店モンブランの商品開発を例にあげ、開発の要素とは①何を②いくらで③どこで④どのようにの4点であることを学習した。自由ヶ丘では「丘ばちプロジェクト」(自由ヶ丘近郊に住んでいる蜂が運んでくる蜜を使って、新

しくお菓子などを製品化していく)が推進されている。自由ヶ丘ではハチミツが沢山とれるように、緑化運動も推進している。また、住民には花を植えてもらうよう協力をお願いしているとのことである。

商品開発の講義が終わり、6グループによるグループワーキング体験授業が始まる。学生に参加してもらい、進行をサポートしてもらう。

研究課題は「丘ばち」を使った商品を提案することである。約1時間の時間をかけて各グループで討論し、その内容を模造紙に書き、各グループは前に出て研究内容を発表した。保護者は、児童たちの学習の前半の時間を使って、大学の案内による校内見学や進路学習を行った。

12:10 閉校式 (産業能率大学入試センター課長 富田雄介氏のあいさつ)  
(大曾根小学校児童からお礼の言葉)

12:20 学食体験 (食堂が休業のため、弁当)  
昼食は地下1Fにある食堂で昼食。

#### 【児童の感想】

- ・グループ討論は難しかったけど、楽しかったです。商品を作る際には、色々な人たちが、色々なことを考えなくてはいけないと思いました。
- ・はちみつは、様々なものと合わせるなどいろいろな商品ができると知りました。
- ・商品開発の手順などが学べてよかったです。また、自分たちで商品が作れてよかったです。



#### 【保護者の感想】

- ・違う学校のお友達と協力して1つのことをする大変な授業だったと思うが、学生さんたちが手伝ってくれて楽しいものができてよかったです。
- ・商品開発は、大変有意義でした。お弁当は、野菜中心でおいしくいただきました。

## 第3回八潮こども夢大学実施報告（東海大学）

実施日 平成26年10月18日（土曜日） 10:00～13:00  
会場 東海大学・高輪キャンパス  
参加者 児童 23名 保護者 13名 引率者 指導課 4名 NPO 2名  
内容 「お掃除ロボット、コンピュータの仕組みを学ぶ」、「VR体験」  
担当者 情報通信学部 福崎稔先生、福原先生、学生4名

### 【当日の概要】

- 8:10 八潮駅集合  
9:50 開校式の前に大学入口にて集合写真を撮影する。  
10:00 開校式（東海大学教学部長 吉田氏のあいさつ）  
（松之木小学校児童の代表の言葉）  
学生3人が加わり、福崎先生から学生達になぜ大学に入り、コンピュータの勉強をしているのかを問われ、それに学生一人一人が答えた。
- 10:15 <sup>もぎ</sup>模擬体験授業  
（お掃除ロボット  
コンピュータの仕組み）



学生が組み立てたお掃除ロボットを使って、お掃除ロボットが障害物にあたると方向を変えろという実験を児童たちに体験させた。お掃除ロボット体験授業終了後、VR（バーチャルリアリティ）の体験授業を受けた。児童10名ずつが画面の前に進み、特殊なメガネをかけて、立体映像によるバーチャルリアリティを体験した。画像が動くたびに驚きの声が聞こえていた。

なぜ立体に見えるのか？それは絵が2重に書かれており、右目、左目の残像の錯覚によるとのこと。1秒間に120枚の絵が描かれているとのこと。児童が体験授業を受けている間、保護者は別メニューとして校内の見学ツアーに参加した。

- 11:25 校舎見学等  
学内の図書館を見学した。本の貸し出しや、蔵書管理は全てコンピュータで管理しており、北海道や九州にある東海大学ともコン

コンピュータで繋がっている。本は高輪キャンパスに 53,000 冊、全東海大学では 270 万冊保有していると説明を受けた。

12:00 閉校式（中川小学校児童のお礼の言葉）

12:10 学食体験

《解散時の八潮駅での集合の様子》



《バーチャルリアリティ体験の様子》



#### 【児童の感想】

- ・VRの体験がよかったです。
- ・3D体験では、3Dメガネとスクリーンが連動しているのだと気づき、驚きました。お掃除ロボットを自分なりに作っていたのですごいと思いました。
- ・学食は、安くて、とてもおいしかったです。
- ・大学に入ると、自分でやりたいことを決め、努力をすることが大切だと思いました。

#### 【保護者の感想】

- ・特に学生の声が聞けたことが、子どもたちの刺激になったと思います。
- ・児童に分かりやすく説明していただき、内容が濃く、特に3Dにはとても驚きました。
- ・子どもがもう少し体験できる時間を増やしてもらいたい。



## 第4回八潮こども夢大学報告（昭和大学）

実施日 平成26年11月8日（土曜日） 午前10:00～13:00

会場 昭和大学・旗の台キャンパス

参加者 児童 25名 保護者14名 引率者 指導課 3名 NPO 2名

- 内容
- 1 オリエンテーション「薬学で学べること」
  - 2 医療人としての薬剤師「医系総合大学昭和大学の特徴」
  - 3 体験実習（シロップ作り・軟膏作り）

担当者 学事課 課長 石崎兼司氏 薬学部 部長 小林教授 学生5名

《記念写真：昭和大学4号館前》



《体験実習：軟膏作りの様子》



### 【当日の概要】

- 8:00 八潮駅集合  
児童23名、保護者12名が八潮駅に集合。児童と保護者2組が昭和大学に現地集合。
- 8:27 つくばエクスプレス乗車（秋葉原・大井町経由で旗の台駅へ）
- 9:50 4号館前で記念写真を撮影。
- 10:00 開校式（昭和大学薬学部部長  
小林教授のあいさつ）  
（大瀬小学校児童の  
代表の言葉）

学事課長石崎兼司氏の司会により、学生5名の紹介があり、学生がそれぞれ自己紹介を行った。

《学生の自己紹介》



## 10 : 15 模擬体験授業 (オリエンテーション・講義・体験実習)

学生が担当して「薬学で学べること」を市販されている薬を例に挙げて、わかりやすく説明してくれた。学生たちは、児童に質問を頻繁に投げかけ、興味を持ってもらおうとして努力していた。続いて、小林教授から「医系総合大学・昭和大学の特徴」についての話があった。

「調剤師シミュレーション室」へ移動し、軟膏を作るグループとシロップを作るグループに分かれて、実習を経験した。日常生活で怪我をしたり、風邪をひいたりした時に使用する薬の形状なので、学生の指導のもと興味を持って実習していた。



## 11 : 50 閉校式 (昭和大学学事課長 石崎兼司氏のあいさつ) (大原小学校児童のお礼の言葉)

## 12 : 00 学食体験 一度に約40名が注文した為か、 注文したものが出てくるのに時間がかかった。



### 【児童の感想】

- ・軟膏を作る作業は楽しかった。学生さんの説明もわかりやすかったです。
- ・学生の説明で、大学はとても難しいという考えを覆すような、楽しそうな大学生活だなと思いました。
- ・今回の薬学の勉強がとても楽しく、もっと深く学びたいと思いました。薬の成分なども詳しく見たいと思いました。

### 【保護者の感想】

- ・先生も学生もみんな仲が良くて良い雰囲気でした。兄弟3人いるので一人くらい入学させたいと思います。
- ・大学の様子や特徴など、訪れてみて気付くことが多くありました。
- ・学校の説明など、とても分かりやすく説明していただいたのでよかったです。

## 第5回八潮こども夢大学報告（芝浦工業大学）

- 実施日 平成26年11月29日（土曜日） 午前10:00～13:00  
会場 芝浦工業大学・工学部 豊洲キャンパス  
参加者 児童 28名、保護者17名 引率者 指導課4名 NPO2名  
内容 ①「大学とは、工学とは」について  
②大学生が教えてくれるカンタン「よう力」  
③体験実習（紙飛行機の制作）  
授業担当 入試部：田川 博幸 部長、伊藤 藍氏、サポート学生4名

《大広場で記念撮影》



《開校式での児童代表のあいさつ》



### 【当日の概要】

- 8:20 八潮駅集合  
参加者のうち、4組の児童・保護者が芝浦工業大学に現地集合。
- 8:47 つくばエクスプレスに乗車  
(新御徒町駅、月島駅を經由して豊洲駅へ)
- 9:40 芝浦工業大学豊洲キャンパス到着。開校式の前に記念撮影。  
(学生スタッフの指示により、交流棟501教室へ移動)
- 10:00 開校式（入試部の田川部長の司会及びあいさつ）  
(大原小学校児童の代表の言葉)
- 10:15 模擬体験授業・実習

学生スタッフが「よう力」について、わかりやすく丁寧に説明を行った。

その後、はさみを使い「紙飛行機の制作」に児童・保護者が熱心に取り組んだ。上手に作る事ができ、



遠くへ飛ばしている児童もいた。

学生スタッフの引率のもと、4グループに分かれての「キャンパスツアー」を実施し、校内の各研究室（材料工学・電気工学・土木工学・情報工学）を見学した。

11：45 学食体験

12：30 閉校式（入試部の田川部長の司会及びあいさつ）  
（潮止小学校児童のお礼の言葉）

《キャンパスツアー・研究室前》



《広くて、きれいな学食》



#### 【児童の感想】

- ・翼の揚力の話は、少し難しかったのですが、僕の将来の夢はパイロットになることなので、揚力のことは、知っておかないといけないと思いました。
- ・施設見学では、図書室にはイスがいっぱいあり、各部屋の中には機械類の設備が充実しているので、この大学に入りたいと思いました。
- ・紙飛行機を作るのに苦労しましたが、上手に出来上がったのでうれしかったです。

#### 【保護者の感想】

- ・小学生にも分かりやすい講義でした。実際の「ものづくり」が体験や施設見学は、とてもよかったですと思いました。
- ・テレビなどでしか見ることのできない実験室を見学でき、勉強になりました。ありがとうございました。

《紙飛行機づくりの様子》



## 第6回八潮こども夢大学報告（聖徳大学）

実施日 平成26年12月6日（土曜日） 午前10:00～13:00  
会場 聖徳大学・児童学部 松戸キャンパス  
参加者 児童24名 保護者12名 引率者 指導課4名 NPO2名  
内容 ①体験授業：「子どもの怪我ってどうして起こるの」  
～子ども視野ってどの程度～  
②体験授業：「音楽と手あそび」～すごいぞ「手あそび」～  
③子どもの図書館見学  
授業担当 児童学部（子どもの保険）＝初鹿静江講師  
児童学部（音楽理論）＝渡辺明子講師、サポート：学生8名

《子ども図書館で記念撮影》



《奥村高明 児童学部長のあいさつ》



### 【当日の概要】

- 8:40 八潮駅集合  
児童と保護者2組が聖徳大学に現地集合。
- 9:08 つくばエクスプレス乗車（北千住経由で松戸駅へ）
- 10:00 開校式（聖徳大学事務局参与 吉田眞言氏の司会・あいさつ）  
（八幡小学校児童の代表の言葉）
- 10:10 模擬体験授業

児童学部初鹿静江先生の講義「子どもの怪我ってどうして起こるの」を学生たちの後ろの席に児童・保護者が着席し、約20分間受けた。

その後、教室を移動。「音楽と手あそび」について、音楽理論担当の渡辺明子先生か



ら授業を受けた。音楽と身振りや手振りを組み合わせ、表情豊かに児童に対応し、児童及び保護者を魅了していた。

子ども図書館において、見学及び学生たちとの懇談を行った。図書館ギャラリーで各グループが学生たちと話し合った。

11:55 閉校式（聖徳大学事務局参与 吉田眞言氏の司会・あいさつ）  
（松之木小学校児童のお礼の言葉）

12:10 学食体験  
井もの・麺類・デザート等、豊富なメニューの中から食べ物を選び、ゆったりと食事を楽しんだ。

#### 【児童の感想】

- ・ 幼児の視界の狭さや、子どもを育てる時の注意など、色々なことがわかり、とても勉強になりました。
- ・ 手あそびが子どもの脳の発達のためには必要だということがわかりました。
- ・ 施設見学では、空気砲などを使った体験コーナーで様々なことを学びました。

#### 【保護者の感想】

- ・ 話だけでなく、楽しく、笑いもある音楽の体験授業でした。
- ・ 実際の授業に参加し、今までにない有意義な体験ができました。大学がどういところなのかを、子どもたちはよくわかったと思います。
- ・ 全6回、参加させていただきました。子どもの視野が広がり、新しい夢が1つ増えたようです。ありがとうございました。

《紙製のメガネで1歳児の視野を体験》

《発砲スチロールの鍋が浮く実験》

